

全県連盟宛H24-104号(教)

平成24年12月21日

ボーイスカウト都道府県連盟

理事長 各位

県連盟コミッショナー 各位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
日本連盟コミッショナー 膳 師



## 冬季の諸活動に向けて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本連盟の諸事業、各種プログラムにご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、貴連盟および各隊・団・地区において、冬季に諸活動が実施されることと存じますが、例年、冬季における事故が多数報告されております。

つきましては、より一層、安全への注意喚起を図るため、下記の通り、留意事項をご通知いたしますので、貴連盟指導者各位にご周知いただきたくお願い申し上げます。

敬具

記

### 1. 指導者の心構え

#### (1) チャイルド・プロテクション (児童保護)

日本連盟では、チャイルド・プロテクションを積極的に推進しております。このことにつきまして理解と同意、そして実践をお願いします。とりわけ、スカウト活動中の飲酒・喫煙については、指導者である立場、スカウトと接する状況を踏まえ、成人として配慮ある対応、行動をとっていただくようお願いいたします。

(チャイルド・プロテクションの詳細は、日本連盟ホームページをご参照ください。)

#### (2) セーフティアウトドア事故ゼロ

日本連盟では、セーフティアウトドアに取り組んでおります。スカウトへの安全教育を行い、安全への意識を高めるとともに、指導者自身も安全に関わる技能・知識・態度および指導力を高め、安全に配慮した楽しい活動を提供するとともに「事故ゼロ」に取り組んでください。そして、スカウトはもちろん、指導者自らも事故を起こさない様、引き続き、先取り優位、ルール遵守、自守の「安全の3原則 (安全入門P92参照)」の徹底をお願いします。

※セーフティアウトドア：独立行政法人国立青少年教育振興機構と全国の関係団体・施設が連携し、事故のない安心安全なアウトドア活動を推進するキャンペーンです。

### 2. スキー、スノーボード、スケートの活動時における留意事項

- (1) 自分の体力や能力、地形や気象の状態、その他の状況に合わせたコースの滑り方に心がけ、自分の技術以上の斜面での滑降、スピードの出しすぎ等が事故に繋がっているので注意してください。
- (2) 事故は、団体やグループで指導を受けている場合では少なく、指導者の目の届かない自由滑走時に多く発生しています。これらを踏まえ、状況に応じた具体的な指示、指導を徹底し安全確保に努めてください。
- (3) 安全用具 (ヘルメット、プロテクター、手袋等) の着用に十分配慮してください。
- (4) スキー場等では安全対策上、ルールを決めている場合が多いので事前に把握し、厳守してください。
- (5) スカウティング誌では、「野外活動のための安心・安全講座」を連載しており、平成24年11月号は「保険申請に見る冬期活動中の事故事例の分析」、平成25年1月号では「スキー訓練は楽しく！知っておこうケガの特徴と指導者の役割り」を掲載しますので、特にご確認してください。

### 3. ノロウイルスによる食中毒の予防

ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が全国的に大流行しております。ノロウイルスは、感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすいため、餅つきなど調理を伴う活動においては、調理者の健康管理、手洗い (トイレに行ったあと、調理施設に入る前、料理の盛り付け、次の調理作業に入る前など)、調理器具などの消毒など、感染防止について一層の啓発と指導等をお願いします。

なお、厚生労働省ホームページに、注意喚起を促すリーフレット等各種情報が掲載されていますので、参考にしてください。

### 4. その他

- (1) その他の活動についても、通常時の安全対策に加え、冬季は気象条件や環境の変化が厳しいことから、冬季に応じた対策を講じられるようお願いいたします。
- (2) 活動計画の折には、事前の準備を十分行い、実施中は状況に応じた具体的な指示・指導を徹底し安全確保に努め、万が一事故発生の際は迅速で的確な対応がとれるようお取り組みください。そして、スカウト・指導者一人ひとりが安全への意識を高め「自分のことは自分で責任をもつ」心構えの醸成に努めることができるようお取り計らいくださいますようお願いいたします。

以上